



憲法記念日によせて 歌と講演のつどい 制服向上委員会と仲築間卓蔵さん

代田九条の会が発足以来恒例の「憲法記念日によせて」は今年、「歌と講演のつどい」を5月12日（土）の午後、6丁目の下北沢教会で開きました。下北沢教会での催しは初めてとあって集まりが気になりましたが、好天にも恵まれて60人余の参加者でした。

脱がない、媚びない、NOと言えるアイドルからのプレゼント

昨年の「3・11」以後、脱原発の集会でお馴染みとなったアイドル「制服向上委員会」が出演ということで、開場前からファンが入場するという初めての事態の中、進行役・伊東宏さんの挨拶で午後1時40分開幕。

第9代目リーダーの小川杏奈さんなど5人のメンバー（全員が現役中・高生）が爽やかに登場。「清く、正しく、美しく」のモットーにふさわしい歌声をリズム感ゆたかに響かせました。憲法9条をテーマにした「理想と現実」、メーデーで大好評だった「悪魔 NO だっ！ 民主党」という過激な歌を唱歌など懐かしい歌と織り交ぜながら振りをつけて次々と歌いました。最後は、「ダッ！ダッ！脱・原発の歌」。前の席を陣取ったファンたちが腕を振り上げて盛り上げてくれました。孫の世代からの楽しいプレゼントでした。

休憩後、下北沢教会の牧師・諏訪鋭一郎さんが挨拶。1933（昭和8）年に建てられた教会が太平洋戦争で笹塚まで見渡せる戦火の中で、焼け残ったことを紹介されました。礼拝堂はもちろん、講壇や椅子など重厚な趣の調度品も80年近い歴史を刻んだものでした。

メディアは信用できない 騙されないで、自分の目と耳で

続いて、講演「憲法とメディア」と題して仲築間卓蔵さん。元・日本テレビでワイドショーのプロデューザーをしていた仲築間さんは、80歳になるが10代の制服向上委員会に負けてはいられない、と語り始めました。淡谷のり子さんが戦時中に特攻隊の基地で慰問公演で、隊員の希望で「別れのブルース」を歌っている途中に次から次へと敬礼して退出（特攻隊として出撃）して逝った体験が戦後の歌手生活をつくったことなど、エピソードを交えながらの気さくな語り口調に引き込まれていきました。

あの戦争の時代に、「神風が吹く」という「不敗神話」のもとに「大本营発表」だけを報道し、大きな犠牲者をつくったが、原発でも、「安全神話」の当局の「発表報道」だけで、多くの犠牲者をつくっていることなど、メディアが果たしてきた役割を指摘しました。

テレビも原発もアメリカ主導で、正力松太郎氏が読売新聞と日本テレビを利用して「原子力平和利用」のキャンペーンを張ってきた経緯。そして原発事故後は、「爆発」という表現を自主規制で禁じたり、反原発番組への介入がおこなわれていることなど事実をもとに披歴されました。また、東日本大震災と原発事故のあと、AC広告が溢れたことのように、国民の関心をそらせる「目くらまし」をメディアが務めていることなどを歴史的に実証されました。

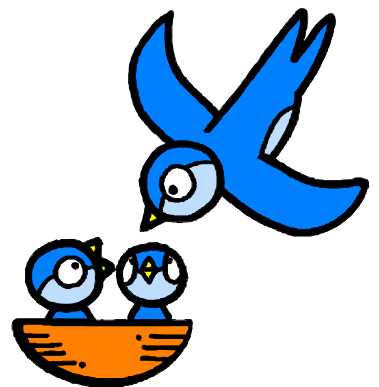
「橋下維新の会なるもの」もメディアがつくっており、政・官・財・学・報の「原子カムラ」に司法と労組を含めて原発推進勢力が再稼働を狙っている。

「メディアを信用しないこと。メディアの偏った報道に汚染されないこと」と強調されたことが説得力を持って受け止めることができるお話でした。

そして、最後に、「脱原発の一点」での国民の輪のひろがり、「九条の会」が憲法を守り活かす活動をすすめていることに確信をもっていこう、とよびかけられました。

お話のあと、「発表報道に対して、どうすればいいのか」、「被災地の瓦礫処理問題については」など質疑応答で行われました。そして、主催団体の代沢九条の会、九条の会まつざわ、代田九条の会の代表からそれぞれ活動紹介があり、最後に代田九条の会代表の野間口至さんが「活動を強めるために資金カンパをぜひ」と訴える閉会あいさつで幕を閉じました。午後4時20分でした。

「3・11」から一年余、「復興」と「原発ゼロ」へ向けての道はまだ見えません。そのとき、国会の憲法審査会が始動して改憲への動きがすすめられています。この国のありようが問われています。情勢をしっかりと捉えて、「九条の会」の運動の力を強めていかなければ、と改めて胸に刻んだ一日となりました。



憲法記念日によせて 歌と講演のつどい アンケートより ①

1 制服向上委員会の皆さんの歌について、ご感想・ご意見など

- (ア) 中高生のはつらつ、ピチピチ、ストレートな政治批判、頼もしく思います。「言いたいことを言う、歌う」ために、媚びないアイドルに頑張ってほしい。「脱原発」の実現のために。
- (イ) 素直なその気持ちを大切に、他人への思いも大事に、これからも活動を続けて下さい。明るい笑顔で。そんな歌を歌わせてしまう社会にしてしまった大人として、反省しなければいけない。
- (ウ) 中・高生の皆さんと聞き、姿、形は本当に可愛いし、少女の歌声なのだから驚くことはない。でも、歌の内容は、大手メディアの顔負けのストレートな言葉がポンポン飛び出す。率直な内容と見た目のギャップの魅力がすばらしいと思いました。ガンバレ。
- (エ) 15-18 才の若い人たちからの問題提起的な歌で、はげまされた。
- (オ) また聴きたいし、できる範囲で応援したい。
- (カ) 若さと明るさの溢れる歌声の中で、憲法九条を守ること、脱原発の大切さを聞きました。たのもしい限りです。
- (キ) ハツラツとしていて活気ももらった。
- (ク) 「理想と現実」よかったです。大人の「現実」に合わせて改憲と叫ぶ人々に、理屈でなく歌の力で訴えるとは嬉しい限り。



2 仲築間 卓蔵さんのお話について、ご感想・ご意見など

- (ア) 現場を知っている方のお話、説得力がありました。ざっくばらんで、とても聞きやすい。いいお話で、1人の力の大きさを感じました。片寄った情報に頭が汚染されないように、したいと思います。
- (イ) とても多くのヒントをいただき、参考になりました。ありがとうございました。
- (ウ) 仲築間さんのお話、とにかく報道の目くらしのことおもしろかったです。時代の真実を見つめてきたジャーナリストとしての迫力を感じた。
- (エ) テレビも原発もアメリカ主義、大事なことから目をそらせる目くらしが多いこと、本当かよく考えることの大切さを痛感しました。
- (オ) 長かったので、途中で集中が切れてしまった。
- (カ) 元プロデューサーの仲築間さんのメディアから見た日本の歴史と今の現状、関心を持って聞かせて頂きました。
- (キ) 難聴者にはよく聞き取れなかった。



3 今日の集い全体について、ご感想・ご意見など

- (ア) とても有意義な会をありがとうございました。
- (イ) メリハリがあって、そして内容的に、とてもタイムリーな話題も多く良かったです。
- (ウ) よい企画であったが、参加者が少し少なかったのが残念。
- (エ) 個人的には、近くて来やすかったです。
- (オ) 途中で帰りますが、自宅から近い教会でこのような集いが行われて嬉しく思います。
- (カ) 年代から云って、太平洋戦争を経験した者として共感する所がありました。
- (キ) とても勉強になりました。



憲法記念日によせて 歌と講演のつどい アンケート より ②

4 九条の会の取り組みについての希望や提案など、 (活動で取り上げる事柄や講演題名や講演者など)

- (ア) 九条がなぜ作られたのか、もう一度歴史を振り返りながら勉強できる講演があっても良いと思います。
- (イ) 本日は制服向上委員会が目当てで来ました。又出演したら来ます。
- (ウ) 九条を守ることにエネルギーに活動されている方ならどなたにでも。(キリスト教、佛教など宗教の枠をこえて)

5 その他 (何でも結構です)

- (ア) ナザレン教会の会場をお借りでき、諏訪牧師さんのお話も大変興味深く伺いました。戦火から焼け残って(笹塚まで見渡せるほど焼けたという事実は無残です) 本当に良かったと思います。神のご加護でしょうか。
- (イ) 相手と争うことを前提にした時、九条はじゃまな存在だが、相手と共存することを前提にした時、九条ほど必要なものはない。九条をいくじなしの理想に終わらせないために。
- (ウ) 「憲法を起草したのは戦争の犠牲者だ」、という諏訪牧師の話もなるほどと思った。「アメリカの押しつけ」というコメンテーターがよくテレビにいるけど、日本の戦争の本質を知らない人だ。仲築間さんのお話、以前からテレビメディアの姿勢に頭にきてたので、今日はスカッとした。
- (エ) 勉強不足で知らないことが多いので、こういう機会に話を聞きたい。
- (オ) (講演の希望) 沖縄在住で基地の被害に苦しんでいる方や戦争でつらい体験をされた方からの話、今なお未解決の拉致被害者のご家族の話
- (カ) 会報、お忙しい中いつも有難うございます。熟読させて頂いています。私は、現役の時障害者授産施設の健康管理室に勤務していました際、同僚男性職員より日曜版(赤旗)を薦められてから関心を持ち始めました。
- (キ) 沖縄(日本全土)の基地を減らせ!! 防衛予算の削減を!!

つどい に出席して

まだあどけなさを残しつつも大人への道を歩んでいる制服向上委員会の女子高生・女子中学生のメンバーたち。彼女らから突き付けられた「理想と現実」という歌に込められた真摯な問いかけ。大人たちは、ややもすると目の前の現実にとらわれ過ぎる。だからこそ、憲法九条が踏みじられていく“現実”を、“理想”の実現へと導くよう努力しなければいけない。若い世代から教えられることは、まだまだ多いですね。また、「憲法とメディア」の講演では、個々人がアンテナを360度張り巡らして、何が報道されているのか、その背景にあるのは何か、冷静に判断する必要性をとても感じました。メディアが騒げば騒ぐほど、私たちは警戒する目と耳を持ちたいですね。とても有意義な歌と講演の時間を、ありがとうございました。

(代沢九条の会・岩村 幸子)

[理想と現実]の余韻が

「ダッ!ダッ!脱原発」のテンポにノリノリ……聖なる場で拳ふり上げ盛り上げる年配の方々を目にして(不謹慎にも)笑っちゃったのはダレ? こんなミスマッチな眼福シーンをマジメに演出された代田・九条の会の企画実行力+諧謔センスに、深々と最敬礼している私です。

制服向上委員会が、リズム軽やかに反復した「リソーとゲンジツ」の意味する重さが、私の中に余韻となって今も未だ響き続けています。

仲築間さんが話された大本営発表や、諏訪牧師の苛酷悲惨な引揚げ体験は、私達の世代にはリアリティをもって実感できる現実の記憶で、その現実の苛酷さ悲惨さ故に、脱軍国・脱戦争を迷いなく心から願い、九条をもつ憲法を揺るぎない理想としている私達の現在があります。

現実の在り方や捉え方は、時の経過と共に変わるとしても、戦争のない「理想とリソー」は、世代を超えて重なり共有されることを私は信じます。拳ふり上げて声を張り上げ、閉塞感に覆われているこの現実を私達は変えなければならぬ……そうです。制服向上委員会のカッワイイお嬢さんたちに負けてはいられませんから……。(九条の会・まつざわ・大月 玄之)

つどいで制服向上 委員会のみなさんが歌つ た「理想と現実」の歌詞

「メンバーもあのような特別な空間で歌えてとても貴重な経験が出来、大変喜んでおりました」
とのコメントがありました。

理想と現実

作詞：中川 五郎
作曲：PANTA

理想の前に現実が
どんと大きく立ち上がる
戦争放棄と言うけれど
攻撃されたらどうするのか
誰も国を守らないのか
誰も銃をとらないのか
世界の危険な現実を前にして
美しい理想は力なし

現実の前に理想を
強く固く築き上げる
人は互いに信じ合い
平和を願い愛するもの
支配したりされること
地上から永遠になくそうと
努めているのが世界なら
力となるのは美しい理想

理想と現実
現実と理想
あなたはどうか考えますか
現実と理想
理想と現実
あなたはどうか思いますか

現実には戦争は今もある
近くで遠くでこの地上で
自国のことだけにかまけずに
世界の平和を願うからこそ
若者を赤紙で駆り集め
若者に銃をとらせるのか
こうして現実が繰り返される
美しい理想の力を無視して

理想と現実がせめぎあう
21世紀のこの時代
銃やミサイルや爆弾で
人と人が殺し合う
何千年たっても変わらない
それが人というものなのか
人の現実に合わせての
理想の人間を追い求めたい
理想の実現のために生きること
理想の実現のために生きること
それが本当の人の現実なのだから
それが理想の現実なのだから

岩手県の釜石・大槌九条の会が体験集を発行

昨年の“憲法記念日によせて”のつどいで、東日本大震災のお見舞いを皆様からいただき、少しですが、釜石・大槌九条の会へ前川慧一様を通じて、募金させていただきました。

私が、送ったこともあり、同会の金崎安子様より、お礼の葉書が届いていました。一周年にあたり釜石・東日本大震災を記録する会として、東日本大震災・津波体験集「3・11そのとき、私は」第一集を本としてまとめられ、送っていただきました。

九条の会の活躍はまだ再開されていないようですが、東日本大震災被災者の生活再建をめざす釜石・大槌の会の活動などされています。

ニュースを通じて、代田九条の会の皆様にご報告します。読みたいと思われる方、ご連絡下さい。お貸しします。
(代田4丁目・萱野 幸子)

集会等の紹介

5月18日(金)～27日(日) 劇 臨界幻想 2011 青年劇場公演

会場：紀伊國屋サザンシアター (新宿駅・新南口)
料金：一般5000円 (代田・九条の会扱い4500円)
問合せ：青年劇場チケットサービス 03-3552-7200

5月28日(月) 午後6時～ 東京 九条の会・大交流会 プレ企画第2弾

- 1 「この国はどこへ向かおうとしているのか？」 坂本 修 弁護士
- 2 「橋下ファシズムとナチス — いまが大事。」 上条 貞夫 弁護士

会場：豊島区民センター5F 音楽室 (東京・池袋橋駅下車)
資料代：800円 主催：九条の会東京連絡会 協賛：法律家の会

6月9日(土) 午後1時半～午後4時半

九条の会事務局主催「情勢学習会」 9条をめぐる動きは、いま
「九条をめぐる動きと政府の憲法解釈～米軍基地、武器輸出、国会の憲法論議」

浦田 一郎 (明治大学・教員)

「九条、『同盟』、沖縄の相関」 明田川 融 (法政大学・教員)

会場：在日本韓国YMCA地下ホール (東京・水道橋駅下車)
参加費：1000円 定員：250人 (当日、先着順) 主催：九条の会事務局

7月1日(月) 午前10時～ 東京 九条の会・大交流会 「憲法を日本のチカラに！」

音楽：制服向上委員会

講演：渡辺 治 さん (九条の会事務局／一橋大学名誉教授)

午後は、分散会 と 分科会

会場：正則高等学校 港区芝公園3-1-36 資料代：1000円
主催：九条の会東京連絡会 電話 03-3518-4886 FAX 03-3518-4867

日本国憲法

第9条 日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇または武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

2. 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

第99条 天皇又は摂政及び国務大臣、国会議員、裁判官その他の公務員は、この憲法を尊重し擁護する義務を負ふ。



～ 私たちが住み、暮らし、働いているまち 代田で、
「日本国憲法第9条」をまもり、活かす活動をすすめましょう ～

お願い：ニュースの原稿を募集しています。400字位で、お近くの世話人までお寄せください。
また、活動費用に充てるためのカンパをお願いします。